

37091760463

この番号だけが、救いでした。

命の満ち欠け

小関翔太 上原剛史 加藤紗希 伊藤慶徳 大塚ヒロタ
磯部泰宏 細川佳央 豊満亮 長部努 遠山雄 はぎの一
西川礼 松木大輔 大河内奏至 山田唯 岸叶会 清島岳
西ヶ谷キヨコ 山口詩史 佐藤まり 順哉 前田新
梅田誠弘

監督：小関翔太 岸建太郎

プロデューサー：小関翔太 岸建太郎 上原剛史 脚本：小関翔太 撮影・編集・照明：岸建太郎 フォーカス：小菅雄貴 アソシエイトプロデューサー：神原健太郎
録音：田中健太 撮影助手：丸田凜子 ヘアメイク：田原美由紀 美術：根本碧 音楽：斎藤孝太郎 相川隆司 予告音楽：衝動物 Peek-a-Boo
制作：小泉薫剛 坂元あいか アクション：ヒロキチ 助監督：中岡祐太 中川沙耶佳 カラリスト：星子駿光
編集協力：藤元明緒 松本優作 サウンドコーディネーター：落合謙磨 リレコーディング：高田義純 南裕貴弥
字幕：Kotaro Iwasaki Momoko Twoto Lynne Hobday 制作協力：就労継続B型事業所NOVAS ユーステール 有限会社ジャングル
株式会社ディーダッシュ・カンパニー 株式会社リアルメーカーズ 株式会社アニモプロデュース ウッディ株式会社 ailes
2022年 日本 105分 DCP Color 3ch 製作：合同会社K-zone 配給：ユーステール 合同会社K-zone 海外配給：合同会社Green Light



@inochimichikake

<https://inochi.k-zone.tokyo>

私は、薬物依存症の診断名を医師に出された者です。

『命の満ち欠け』は実際に自分が体験したような、人間像、葛藤、衝突…が描かれていて、薬物依存症者としては希望、救いとなる、唯一の映画作品だと私は感じております。

私は生まれてから、親に褒められ、愛されたという自覚がありませんでした。だからこそ、親に認められたい、褒められたいという一心で、学校でのテストや宿題、塾での生存競争を経てある一定の結果を残せました。しかし、それでも両親は遠ざかっていく様でした。依存症の根底には自分自身に対する、プライド、そして…孤独が深く関係しているという事、その自分を認められない事、助けを求めにくい存在にあるのだと私は考えます。私も自立支援施設において、五年強、働きました。

大切な二十代前半の輝かしい、時代を薬物に費やしてしまつたのです。

一時は、一生このまま施設で生活していくのだなと悶々と過ごしていました。

だけれども、今振り返るとZで呼ばれる回復、という言葉の意味が解せました。

ある、目標や達成感。頼りたい時は物質では無く、人へ。そうした想いの中で回復していくのだと、感じています。

私は今、正社員として働いています。

本当に自分と、向き合い、闘い続ける毎日です。

それでも、ある一つの目標があるならば形を変えて、完全に薬物依存から脱却出来るのだと自分に言い聞かせています。

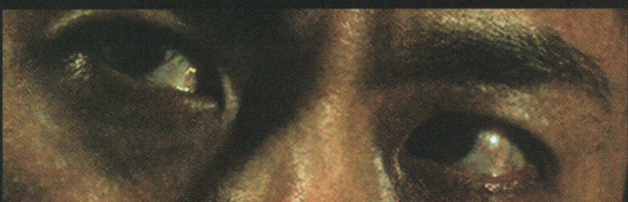
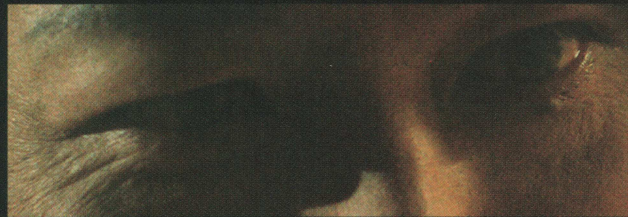
葉への欲求がよぎらない日は、正直、ありません。

けれど、大切な人、達成したい事を想い続ける、その先に人として生きられるものがあると信じております。

人との繋がり、それは唯一無二の薬物からの出入り口なのです。

私は今もその細い、細い、光を微かに見出そうとしています。

苦しい毎日ですが、ただ、生きたい。それだけなんです。



07091160463

ツナガルまでカケツヅケル。

イントロダクション

薬物依存の壮絶な実態、苛烈極める虐待の連鎖、そして隠蔽。

本作は、一人の薬物依存者の「受難」を丹念に描きながら、その諸原因を一つ一つ暴いていく。

やがて明らかになる「闇」に、主人公は自らの手で「光」を照らそうとする。

自らの意志で「闇」に立ち向かう。主演・弟役を演じるのは、監督の小関翔太。

小関は初監督作品でありながら脚本も兼任し、兄役の上原剛史と共に、

「全身全霊」で本作に挑んだ。

共同監督の岸建太朗は話題作『Winny』では撮影と脚本を、大島渚賞、新藤兼人賞受賞の

『海辺の彼女たち』では撮影監督、大阪アジア映画祭では監督作『Hammock』が

最優秀短編映画賞を獲得するなど、幅広く活躍する映像作家である。

キャストは、高崎映画祭で最優秀新進俳優賞を受賞した梅田誠弘、『Winny』『ガンニバル』

などの話題作に出演する大塚ヒロタ、そして自立支援施設長松永を「怪演」した伊藤慶徳。

『いつくしみふかき』の遠山雄、『距てて』など若手監督としても注目される

加藤紗希らが脇を固める。



墮ちよ！朽ちよ！生きよ！7/1(土)より公開

(記載の命の電話番号へのご連絡はあなた次第です)

特別鑑賞券 ¥1,400販売中 ※当日一般¥1,800の処



新宿駅東口階段下 甲州街道沿ドコモショップ左入ル
新宿 K's cinema
03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com
各回入替・全席指定席



※期間中イベント予定(詳細は公式webまたは、劇場まで)